



## 2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月28日

上場会社名 株式会社メディアリンクス 上場取引所 東  
 コード番号 6659 URL http://www.medialinks.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 菅原 司  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 長谷川 渉 TEL 044-589-3440  
 四半期報告書提出予定日 2021年10月28日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,096	6.1	△424	—	△433	—	△441	—
2021年3月期第2四半期	1,033	25.4	△228	—	△237	—	△240	—

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 △436百万円 (—%) 2021年3月期第2四半期 △240百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	△78.14	—
2021年3月期第2四半期	△42.57	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	2,552	984	36.9	166.99
2021年3月期	3,278	1,418	42.0	244.09

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 942百万円 2021年3月期 1,377百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,485	140.3	145	—	123	—	90	—	15.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期2Q	5,675,300株	2021年3月期	5,675,300株
② 期末自己株式数	2022年3月期2Q	33,056株	2021年3月期	33,756株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期2Q	5,641,957株	2021年3月期2Q	5,640,322株

（注）当社は、株式給付信託（J-ESOP）を導入しております。当該株式給付信託が保有する当社株式を、期末自己株式数として計上しております。また、期中平均株式数（四半期累計）の計算において、当該株式給付信託が保有する当社株式の数を控除しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想に記載した数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

当社は、2021年10月28日（木）にアナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。その模様及び説明内容（動画）については、当日使用する決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進み、経済活動の持ち直しの動きは見られたものの、その収束は依然として見通せない状況にあり、景気の先行きについても不透明な状況が続きました。

このような状況の下、当社グループは海外を中心に事業展開を進めました。

アジア市場は、前年同期に比べ増収となりました。これは韓国において、放送局向けプロジェクトの売上を計上できたことによるものです。北米市場は、主要顧客に対する売上は前年同期より減少したものの、他の顧客の売上が増加したことにより、前年同期とほぼ同程度となりました。オーストラリア市場は、主要顧客のメンテナンスサポート契約を継続していることにより、前年同期とほぼ同程度の売上となりました。EMEA市場は、前年同期に比べ減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、1,096百万円（前年同期比6.1%増）となりました。製品グループ別内訳では、ハードウェア製品が825百万円（同14.1%増）、その他が272百万円（同12.5%減）となりました。海外売上高比率は、前期の78.0%から83.7%へと増加しました。利益面においては、売上総利益率は52.4%となり、売上総利益は574百万円（同10.2%減）となりました。

経費面では、更なる成長を図るための研究開発費は371百万円（同24.4%増）と増加したことなどにより、販売費及び一般管理費は、999百万円（同15.1%増）となりました。

損益面では、営業損失は424百万円（前年同期は営業損失228百万円）、経常損失は433百万円（前年同期は経常損失237百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は、441百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失240百万円）となりました。

なお、当社グループは、映像通信機器のメーカーとして事業を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、セグメント別に事業を分類していません。

### (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ726百万円減少し、2,552百万円となりました。主な変動要因は、受取手形及び売掛金の減少694百万円、現金及び預金の減少105百万円によるものです。

#### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ291百万円減少し、1,569百万円となりました。主な変動要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少156百万円及び買掛金の減少126百万円によるものです。

#### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ435百万円減少し、984百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失441百万円の計上による利益剰余金の減少によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2021年5月7日の「2021年3月期決算短信」で公表した業績予想を据え置いておりますが、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う当社グループへの影響につきまして、今後業績予想の変更が必要な場合には速やかにお知らせいたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	943,576	838,578
受取手形及び売掛金	1,116,708	423,142
商品及び製品	643,466	689,092
仕掛品	694	1,155
原材料及び貯蔵品	298,943	267,653
その他	150,125	201,135
流動資産合計	3,153,512	2,420,754
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,051	957
工具、器具及び備品(純額)	36,813	42,999
有形固定資産合計	37,864	43,956
無形固定資産		
ソフトウェア	1,895	3,984
その他	1,652	1,161
無形固定資産合計	3,548	5,145
投資その他の資産		
投資有価証券	0	0
繰延税金資産	51,790	51,288
その他	31,608	31,330
投資その他の資産合計	83,398	82,618
固定資産合計	124,810	131,718
資産合計	3,278,322	2,552,473
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	320,350	194,193
短期借入金	180,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	405,702	250,092
未払法人税等	9,061	5,865
前受金	51,803	76,636
その他	138,996	148,729
流動負債合計	1,105,913	795,515
固定負債		
長期借入金	706,664	723,302
リース債務	8,048	6,478
株式給付引当金	8,960	8,169
長期未払金	5,740	5,740
その他	24,631	29,745
固定負債合計	754,043	773,434
負債合計	1,859,955	1,568,949

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,681,923	1,681,923
資本剰余金	116,264	116,264
利益剰余金	△411,471	△852,351
自己株式	△37,043	△36,274
株主資本合計	1,349,672	909,561
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	27,345	32,613
その他の包括利益累計額合計	27,345	32,613
新株予約権	41,350	41,350
純資産合計	1,418,367	983,524
負債純資産合計	3,278,322	2,552,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
売上高	1,032,841	1,096,241
売上原価	393,694	521,980
売上総利益	639,147	574,262
販売費及び一般管理費		
役員報酬	68,200	68,975
給料及び手当	259,631	300,068
研究開発費	297,975	370,535
その他	241,507	259,071
販売費及び一般管理費合計	867,313	998,649
営業損失(△)	△228,165	△424,387
営業外収益		
受取利息	40	4
助成金収入	1,294	1,488
その他	40	39
営業外収益合計	1,374	1,532
営業外費用		
支払利息	7,571	8,639
為替差損	1,545	843
その他	856	678
営業外費用合計	9,972	10,160
経常損失(△)	△236,763	△433,015
税金等調整前四半期純損失(△)	△236,763	△433,015
法人税、住民税及び事業税	2,937	2,029
法人税等調整額	399	5,835
法人税等合計	3,336	7,864
四半期純損失(△)	△240,099	△440,880
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△240,099	△440,880

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△240,099	△440,880
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	430	5,268
その他の包括利益合計	430	5,268
四半期包括利益	△239,668	△435,612
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△239,668	△435,612
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△236,763	△433,015
減価償却費	8,921	8,899
株式給付引当金の増減額(△は減少)	△296	△791
受取利息及び受取配当金	△40	△4
支払利息	7,571	8,639
為替差損益(△は益)	9,135	10,607
固定資産除却損	—	44
売上債権の増減額(△は増加)	154,621	696,780
棚卸資産の増減額(△は増加)	△101,480	△13,396
仕入債務の増減額(△は減少)	86,461	△124,493
前受金の増減額(△は減少)	△19,237	25,716
その他	△57,644	△34,771
小計	△148,750	144,215
利息及び配当金の受取額	51	4
利息の支払額	△7,571	△8,639
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,003	△8,617
営業活動によるキャッシュ・フロー	△161,274	126,963
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,404	△13,500
無形固定資産の取得による支出	△2,362	△2,610
その他	△2,231	△2,253
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,997	△18,363
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△383,521	△60,000
長期借入れによる収入	530,000	—
長期借入金の返済による支出	△222,762	△138,972
リース債務の返済による支出	△2,730	△3,180
財務活動によるキャッシュ・フロー	△79,014	△202,152
現金及び現金同等物に係る換算差額	328	△13,620
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△246,957	△107,173
現金及び現金同等物の期首残高	1,940,726	938,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,693,769	830,968

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

一部の連結子会社の税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（会計方針の変更）

収益認識に関する会計基準等の適用

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2018年3月30日公表分。「以下「収益認識会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金の期首残高へ与える影響はありません。

また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響もありません。